

2024年10月2日

積水化成成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、プラスチックフィルムおよび各種ラミネート製品の製造販売を行う企業と連携し、発泡ポリエチレン樹脂の新たな再生材利用のスキームを構築しました。

## 発泡ポリエチレン樹脂の 新たな再生材利用スキームを構築

### 1. 経緯

この度、当社はポリエチレンフィルム生産過程で発生する各種フィルム端材を梱包資材の原材料として活用する、新たな再生材利用のスキームをプラスチックフィルムの製造販売会社と共同で構築しました。

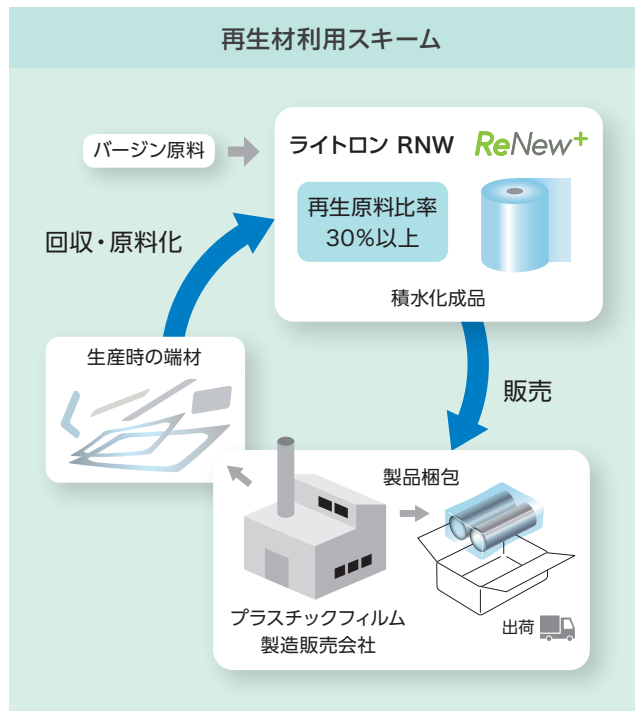
### 2. 内容

「ライトロン」は、軟質でクッション性に富む無架橋高発泡ポリエチレンシートです。断熱性や防水・防湿性、耐薬品性に優れた素材として、各種包装資材や雑貨などの用途で使われています。

今回構築した再生材利用スキームは、ポリエチレンフィルム生産過程で発生する各種フィルム端材を回収・原料化し、この再生原料を30%以上使用した「ライトロン RNW」を製造・販売することで、新たに各種製品梱包材としてご活用いただくものです。



「ライトロン RNW」梱包資材



### 3. 今後の展開

リサイクル原料を活用した「ライトロン RNW」の梱包資材は、人と地球の未来に貢献する 3R (Reduce、Reuse、Recycle) を体現する製品として、ロジスティック全般に向けて提案および拡販を進めていきます。積水化成成品グループは、持続可能な社会の実現に向けて、2030年には当社グループのリサイクル・バイオマス原料比率50%以上とする目標を掲げています。これからも、パートナー企業と協働して事業活動を通じた環境・社会課題の解決に取り組み、循環型社会の実現に貢献していきます。

以上